

クロマチン高次構造に付随した 発生遺伝子の時・空間的制御

講師：磯野 協一 先生

(理化学研究所免疫アレルギー科学総合研究センター)

日時：5月27日（火）16：00～

場所：4号館3階 大講義室

概要

細胞の分化を左右する転写制御因子ネットワークは、空間的そして時間軸に沿って制御されている。およそ10年前、ホメオティック遺伝子をはじめとする主要分化制御遺伝子のほとんどがポリコーム群と呼ばれる一連のタンパク質群によって制御されていることがゲノムワイド解析によって報告された。それ以降、ポリコーム群による遺伝子制御は爆発的に注目されるようになった。本セミナーでは、我々の最新の成果を中心にポリコーム群の機能と役割について紹介したい。

Ref:

SAM Domain Polymerization Links Subnuclear Clustering of PRC1 to Gene Silencing. *Developmental Cell* 26, 565–577, September 30, 2013

世話人：田上英明 (内線 5818、E-Mail: dan@nsc.nagoya-cu.ac.jp)